



# みどりが丘だより



## 特集

### contents

## 在宅療養患者さんに対する訪問看護師との 同行指導のご案内

職場紹介 / リハビリテーション科・薬剤師の一口メモ・栄養管理室だより・  
附属看護学校だより

信濃国分寺の蓮

撮影者：循環器内科医長 森田 岳宏

### 信州上田医療センターの基本方針

1. 患者さんの人権と要望、権利を尊重し、十分な説明、情報提供を行い、互いに信頼協力しあえる関係を作り、安全で質の高い医療を平等に提供します。
2. がん、循環器、HIV、災害等の政策医療を担い、診療、研究、教育、情報発信を行います。
3. 上下小地域における救急医療を行う一般病院として、地域医療機関、自治体との連携を強化し、地域住民の健康推進、地域医療の充実に努めます。
4. 医師の臨床研修、看護師養成、地域の各種医療従事者の卒業研修を行い、医療従事者の教育研修を行います。
5. 医療環境の変化に対応できる健全な経営を目指します。

### 信州上田医療センターの理念

#### 私たちは目指します

- ①互いに信頼し尊敬しあえる関係
- ②安全で質の高い医療
- ③情報を共有して納得のできる医療
- ④地域と連携して安心できる医療
- ⑤医療の将来を見すえた健全な経営

### 患者さんの権利

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重される権利があります。
2. 良質かつ適切な医療を平等に受ける権利があります。
3. 病気・検査・治療・見直しなどについて、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。  
また、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
4. 十分な説明と情報開示を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。そのために担当医以外の医師の考え(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
5. 医療の過程で医療者が知り得た個人情報を守られ、入院中も可能な限り私的な生活が乱されない権利があります。
6. こどもにおいては「生きる権利」「育の権利」「守られる権利」「参加する権利」があります。

### 施設設定

- 地域災害拠点病院 (1997.1)
- エイズ治療拠点病院 (1997.1)
- 地域周産期治療センター (2000.9)
- 地域医療支援病院 (2002.11)
- 災害派遣医療チーム (2008.9)
- 第2種感染症指定医療機関 (2011.4)
- 地域医療教育センター (2011.4)
- 臨床研修病院 (2012.4)
- 地域がん診療病院 (2016.4)
- 地域医療人材拠点病院 (2019.4)

## 就任のご挨拶

このたび令和5年4月1日付で看護部長に就任しました二瓶と申します。

私は、令和元年から令和3年3月まで信州上田医療センターに勤務しておりました。そのため、再びこの地にきて、目に映る景色や肌を感じる空気、人々の会話等から、ふるさとに戻ってきたような懐かしい気持ちを感じています。

当院は、上小地域唯一の急性期総合病院として、地域に暮らす方たちの生命を守る使命があり、年間3600台以上の救急車を受け入れています。また、中等症以上の新型コロナウイルス入院患者の治療・看護等もしています。そして、分娩件数の大幅な増加にも対応するため、分娩室を増やす等の改修工事が今年度予定されています。これらの役割を担いつつ、地域の需要と暮らす方たちの要望に最大限応じることができるよう幅広い治療・看護を展開しています。

看護部の理念は、『患者さんの人権を尊重し、あたたかい心の通う看護の提供』です。このことを実践するためには、正確な知識と技術、看護の豊かな感性と倫理観が必要です。看護師として、患者さんとそのご家族等の気持ちをどう感じ、それにどう対応・看護していくのかということもその一つです。目の前の患者さんが、自分の家族や大切な人だったらどうするのか、その時に看護師にどう対応してほしいと思うのかを考え行動できる強く優しい看護師の育成が必要だと思っています。

今年度は、『病院祭』等の病院行事や、その他病院外での活動等でも上小地域の皆さまと直接お会いできる機会が多くあります。ぜひ、当院への要望やご意見等を教えていただけますと幸いです。

皆さまに、より一層『信頼され愛される信州上田医療センター』となるように、そして、当院の使命を遂行するために、組織力のさらなる強化と看護師の育成に全力で挑みます。

どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長 二瓶 吾紀子

## 在宅療養患者さんに対する 訪問看護師との同行指導のご案内

皮膚・排泄ケア特定認定看護師の高橋ゆかりです。

私は現在、褥瘡管理者として多職種と協力しながら褥瘡予防・早期治療を目指し活動を行っています。2020年に日本看護協会で行われた特定行為研修（創傷関連）を修了しました。研修後、在宅療養をされつつ、当院に通院されていた褥瘡（床ずれ）や腫瘍自壊創部（キズ）がある患者さんに介入した事がきっかけで、在宅に出向き褥瘡等の管理や指導ができないか検討し体制を構築しました。

2023年2月から訪問看護師との同行指導を開始しております。

### ★高橋ができる特定行為（2区分4行為）

\*創傷管理関連：褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去  
創傷に対する陰圧閉鎖療法（NPWT）

\*栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

：持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

脱水症状に対する輸液による補正 …について 訪問時、相談対応可能です。

### 訪問対象となる患者さん

- ①かつ②のいずれかに該当する患者さん
  - ①在宅での療養を行っている患者さん  
(通院治療が困難)
  - ②\*悪性腫瘍の鎮痛療法を行っている患者さん  
\*真皮を越える褥瘡がある患者さん  
\*人工肛門若しくは人工膀胱を造設しており  
自己（または家族）管理が困難な患者さん

ご利用を検討したい患者さんやご家族は、まずは訪問看護師さん、ケアマネージャーさんへご相談下さい。

その上で、訪問看護師さん、ケアマネージャーさんは高橋までお問い合わせください。患者さんからの個別対応はしていません。

●患者さんの状態により、ご対応できない事があることをご了承下さい。また、訪問する日程については、ご相談させていただいた上で決定させていただきます。

### ●利用料について

基本料金（¥12,850）のうち健康保険証や各種公受給者証等の負担割合に応じた金額となります。以下は目安です。

1割負担…¥1,290

3割負担…¥3,860

\*上記の他に交通費を別途ご負担いただきます。

形成外科  
成松医師

看護師  
高橋

